

## NCの現状

インターネット用の端末としてNC（ネットワークコンピュータ）という仕様を Netscape社やSUNが発表したことは以前にも記事にしたとは思いますが、あれからしばらくたって現状はどうなっているのでしょうか。三菱電機もNCの発売に名乗りをあげ、また、米国のJavaの展示会ではAMITYを利用したJava端末の展示、JAVA用CPUの開発を行うなど積極的に展開しているようですが、ここの所静かなようです。

そのような中で、10月29日にはSUNがJava端末を発表しました。NCは500ドルコンピュータとも呼ばれ、インターネットに接続することを前提に、INTELの高価なCPUを必要とせず、HDDも内蔵しないことによって500ドル程度の端末を提供しようとするものでした。それに対して、今回SUNが発表した端末は750ドルが1500ドルと若干高めになっています。しかし、これまでパソコン業界を牛耳ってきたWINTTEL（WindowsのマイクロソフトとINTEL）のグループに対抗して、時代を変化させようとしてきたNCの1製品ですから、今後の動向をみたいものです。

このSUNのJava Stationの発表の前日にWINTTEL側は「Net PC」というWINTTEL版NCとも呼べるネットワーク接続を前提とした低価格パソコンの構想を発表しました。このNet PCは、基本的には現在のWindowsマシンの仕様と特別差はなく、ただプログラムの格納場所をサーバに持ち、プログラムなどの資源の管理を容易にするなど、現在のWindowsマシンの仕様にオラクルなどが提唱したNCの要素を取り込んだものになっている。確かに、プログラムをサーバに置くために、ハードディスクはキャッシュ用のものに限定し、拡張スロットも持たないなど低価格対応とはなっているが、Pentium100MHz以上、16MB以上のメモリなど現在のものとほとんど変わらない。WINTTEL側も従来のPCを置き換えるものではなく、業務端末など用としているので今後の1つの方向性を示したものかもしれない。

NCはいろいろな思惑があって発表されたものであるが、現在のところ受け入れられるような条件がそろっているとは言えないように思われる。500ドルパソコンは魅力的かもしれないが、インターネットを見るだけであればゲーム機や通信カラオケ端末、インターネットテレビなどで十分であり、インターネット、イントラネットの端末として仕事で安く利用しようとするならば、通信費用やイントラネット環境の整備などいろいろな問題が山積している。まして、日本のようにグループで仕事をしているようで個人的にデータを抱えて仕事をしているような状況では、高速なマシンと大容量のハードディスク、個人的なプログラムなど、NCの普及には米国以上の困難があるように感じられる。

しかし、このNCの登場は1つのターニングポイントであることは間違いなく、対応には十分な注意と最善の判断が重要となると考えられる。

(情報誌トピックス)

○ 経 済 電 子 報 1 1 月 2 5 日 号

特集 イントラネットのユーザ管理

運用・セキュリティ基盤の構築が急務

→イントラネットのセキュリティを効率的に管理するために、「ディレクトリサーバ」が注目されている。ディレクトリサーバはユーザの属性情報やシステム内のプログラム、データなどのリソース情報を管理するデータベースで、現在は個々のアプリケーションに組み込まれているが、独立させることによってリソースを一元管理し、セキュリティを守ることができる。

○ 経 済 電 子 報 1 2 月 2 日 号

特集 見えた！21世紀のマイクロプロセッサ

→今後10年のマイクロプロセッサはどうなるか。当面は現在の延長戦上で性能向上(3年で3倍)を行い、音声、動画に対応したマルチメディア対応を果たす。

論文 カラーSTN液晶パネルの動画対応品を開発

→6インチ(シチズン)

ニュース 米Microsoft携帯機器向けOS「Windows CE」を発表

→Win95と同様の操作性を携帯情報端末に持ち込んだWinCE。

三菱、インターネットテレビなど向けのCRT用カソードを開発

○ 経 済 電 子 報 1 2 月 2 日 号

特集 用途で選ぶ96年冬型パソコン

→個人向けのパソコン(MS540)などは機能強化が激しく、どう選んでいいのかデスクトップとノートパソコンの見方、選び方

特集 この年末は「写真品質」で選ぶカラープリンター

→主要5機種を徹底チェック

特集 あなたにぴったりの1台はこれだーデジタルカメラ

→普及タイプから高級機までラインナップのそろったデジタルカメラ、その写り具合は？

ニュース 新パソコン登場！？NC対NetPC

→NCに対抗しているように発表されたWintel側のNetPC。これからのパソコンはどうなっていくのか

書き換え可能なCDが近く登場

→書き換えできるCD-RW、記録膜に相変化膜を用いるPD、DVD-RAMと同様の方式だが、現行のCD-ROMドライブで読めない欠点がある

○ 経 済 電 子 報 1 2 月 号

特集 インターネットコンピュータの条件

→インターネットにつながる端末としていろいろなものが発売されている。

N C、N e t P Cだけでなく、W i n C E搭載機、インターネット家電（テレビ、ワープロ、ゲーム機、カラオケ端末）携帯情報端末など。普及に対する課題と条件を特集

解説 もたつくDVDを尻目に急成長するCD-R

→DVD-RAMの規格が定まらず、製品の出荷が98年にずれ込むことがはっきりしてきたところで、CD-Rの製品価格が10万円を割り急成長してきている

○ A S C I I 12月号

特集 冬のボーナスでパソコン道楽だっ

→各社冬モデルの特集

特集 すべて見せます、パソコン業界のウラおもて

→激動の96年のパソコンシーンを総括する

○ S U P E R A S C I I 12月号

特集 W e bマスター養成講座

→最新WWW技術は何を可能にするのか？ダイナミックなW e b ページ作成からサイト管理まで。時代を先取りするW e b マスタのための全情報

レビュー CD-Rドライブ16機種

レビュー WWWブラウザ2大対決

NetscapeNavigator3.0vsInternetExplorer3.0

→ユーザインターフェース、ファイル構成、表示機能、補助機能などで総合的に比較

○ A S C I I D O S / V 1月号

特集 新春ニューマシン徹底チョイス

→速さで選ぶP e n t i u m P r o、家電パソコン、ニューコンセプトマシン、ホットニュース

企画 W i n 9 7直前補習ラストスパート